【ReverTra Ace® αトラブルシューティング】

1. 増幅バンドが確認できない、または、増幅効率が悪い。

原因		対策
鋳型RNA	・純度が悪い	・再調製する
	・鋳型量が少ない	・PCRのサイクル数を増やす
		・鋳型量を増やす
	・劣化している	・再調製する。
		・使用頻度が高い場合は、あらかじめ少量
		ずつ分注しておく
	・高次構造を有する	・RTにRandom Primerを使用する
		・酵素以外を入れたRT反応液を65℃で
		5分間、氷上で5分間置いた後、RTを行う
プライマー	•Tm値が低い	・アニーリング温度を下げる、またはプライ
		マーを再設計する
	・配列が適切でない	・poly(A)tail を持たないRNAをRTのテ
		ンプレートとする場合、Oligo(dT)20は使
		用できない
		・配列が正しいことを確認する
		・プライマ一内、あるいはプライマ一間に相
		補的な領域がないことを確認する
		・PCRのプライマー2つが同一鎖にアニー
		ルしないことを確認する
	・プライマー量が少ない	・1反応当り、10 pmol 以上使用する
PCR条件	・アニーリング温度が高い	・PCR条件を検討する
	・伸長時間が短い	・PCR条件を検討する
	・サーマルサイクラーの作動が	・動作が正常であるかを確認する
	適切でない	
その他	・RNaseのコンタミ	・鋳型RNAを再調製する
	・酵素の失活	・新しい酵素を使用する
	・アニーリング温度が高い・伸長時間が短い・サーマルサイクラーの作動が適切でない・RNaseのコンタミ	PCR条件を検討するPCR条件を検討する動作が正常であるかを確認する・鋳型RNAを再調製する

2.非特異的なバンドが多い

原因		対策	
鋳型RNA	鋳型量が多すぎる	・鋳型量を減らす	
	・ゲノムDNAのコンタミ	・DNase I 処理を行う	
		・逆転写反応を行っていないNegative	
		Control も同時にPCRを行う	
プライマー	・配列が適切でない	・ターゲット領域以外にもアニーリングしや	
		すい領域がある→プライマーを再設計する	
	プライマー量が多すぎる	・プライマー量を検討する	
PCR条件	・アニーリング温度が低い	・アニーリング温度を上げる	
その他	サンプル間のコンタミネー	チップをこまめに交換する	
	ション	・フィルターチップを用いる	

